

情報公開について

インフォームド・コンセントを受けない場合において、下記のとおり情報を公開します。

(研究課題名) 顎矯正手術における上顎骨の安定性と周辺組織の変化について
(実施期間) 令和2年9月17日から令和7年8月31日
(意義・目的) 睡眠関連呼吸障害に対する外科的治療の目的は、上気道の狭窄部位などを外科的に取り除き、上気道の換気と気流の改善を図り、最終的に良質な睡眠を獲得させることである。この外科的治療の中に顎変形症を伴う咬合不全に対する外科的矯正手術を応用した手術（上下顎前方移動術（MMA）、オトガイ舌骨筋前方牽引術（GA））がある。睡眠関連呼吸障害における術後安定性に最も重要なのは、上顎骨前方移動術であることがわかっている。そのため、上顎骨前方移動後の術後安定性は睡眠関連呼吸障害の改善に重要な因子となる。しかし、上顎前方移動術の移動量の基準はない。また、MMA+GA後の術後評価には、術後半年後の終夜睡眠ポリグラフ検査が行われている。そこで、本研究は全身麻酔下に顎矯正手術（LeFort I型骨切り術、下顎枝矢状分割術、オトガイ形成術）を行った症例および正常骨格の症例に対し、終夜睡眠ポリグラフ検査の改善度および手術前後の頭部X線規格写真を分析し、上顎骨の安定性、拡大した口腔容積と舌骨の位置変化と口腔容積と舌の比率を検討し、手術の術後安定性と解剖学的変化を評価することを目的とする。
(研究方法) 平成24年4月～令和2年3月に日本大学歯学部附属歯科病院口腔外科に来院した患者で顎矯正手術を施行した患者に対し、顎変形症患者等の患者基本情報（年齢、性別、体重、身長、来院経過）、生活習慣（喫煙、飲酒、食生活）、部位、治療内容、経過観察結果、合併症などのカルテ記載事項、頭部X線規格写真などの画像診断情報を解析し、手術後の術後安定性と解剖学的変化を統計学的に評価する。
(問い合わせ窓口) 日本大学歯学部 口腔外科学第I講座 研究責任者 外木 守雄 連絡先 電話 03-3219-8082

本研究に御賛同いただけない方は、上記まで御連絡ください。